

第五十八回帝國議會 衆議院

輸出補償法案委員會會議錄(速記)第一回

付託議案

輸出補償法案(政府提出)

委員會成立

本委員ハ昭和五年四月三十日(水曜日)議長ノ指名ヲ以テ左ノ通選定セラレタリ

マス、先例ニ依リマシテ年長ノ故ヲ以チマシテ投票管理者トナリ、是ヨリ委員長及理事ノ互選ヲ行ヒマス

●矢野委員 委員長ハ投票ヲ用ヒズシテ御指名ニ願ヒタイト存ジマス

●松井投票管理者 只今ノ御發議ニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

●松井投票管理者 御異議ガナケレバ左様ニ決シマス——岡崎久次郎君ヲ委員長ニ推薦致シマス——只今ノ指名ニ御異議ナイモノト認メマス、仍テ岡崎久次郎君ガ委員長ニ御當選ニナリマシタ

- 岡崎久次郎君 飯塚春太郎君
- 松井文太郎君 一柳仲次郎君
- 前田房之助君 中 亥歳男君
- 古賀 政一君 戸部 良祐君
- 竹田 儀一君 矢野庄太郎君
- 丹下茂十郎君 鈴木 英雄君
- 田邊 熊一君 板谷 順助君
- 松村 光三君 田口 文次君
- 勝田銀次郎君 太田信治郎君

五月一日(木曜日)午前十時二十分委員長理事互選ノ爲委員參集ス

其ノ氏名左ノ如シ

- 岡崎久次郎君 飯塚春太郎君
- 松井文太郎君 一柳仲次郎君
- 前田房之助君 中 亥歳男君
- 古賀 政一君 戸部 良祐君
- 竹田 儀一君 矢野庄太郎君
- 丹下茂十郎君 鈴木 英雄君
- 田邊 熊一君 板谷 順助君
- 松村 光三君 田口 文次君
- 勝田銀次郎君 太田信治郎君

●岡崎委員長 只今松井君カラノ御發議ニ依リマシテ、不肖岡崎久次郎委員長ニ御推薦ヲ受ケマシタ、委員長ハ洵ニ不慣レデゴザイマシテ、且ツ不行届デアリマス、ドウカ御厚意アル皆様ノ御後援ニ依ツテ、無事ニ此大任ノ勤マリマスルヤウ切望致シマス、尙ホ理事ハ二名ト致シマシテ私ニ指名ヲ御任セ下サレタイト思ヒマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

●岡崎委員長 御異議ガナケレバ中亥歳男君ト丹下茂十郎君ノ御二方ニ御願

ヲ致シマス

會議

昭和五年五月一日(木曜日)午前十時二十五分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 岡崎久次郎君

理事 中 亥歳男君

理事 丹下茂十郎君

理事 松井文太郎君

理事 前田房之助君

理事 戸部 良祐君

理事 矢野庄太郎君

理事 田邊 熊一君

理事 鈴木 英雄君

理事 板谷 順助君

理事 松村 光三君

理事 田口 文次君

理事 勝田銀次郎君

理事 太田信治郎君

出席國務大臣左ノ如シ

商工大臣 俵 孫一君

出席政府委員左ノ如シ

商工政務次官 横山勝太郎君

商工參與官 野田文一郎君

商工省商務局長 川久保修吉君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

輸出補償法案(政府提出)

●岡崎委員長 ソレデハ只今カラ議事ヲ進行致シマス

●松村委員 本案ハ既ニ英吉利、佛蘭西、伊大利、和蘭等世界ノ各國ニ於テ多年實行シテ居ル法案デアル、而シテ此法案ノ内容モ大體ニ於テ外國ノ模倣デアルト私ハ認定致シマス、然ラバ主務省ニ於キマシテハ各國ニ於ケル然ルベキ參考書ガアルベキ筈デアリマスカラ、本案ヲ審議スル前ニ各國ノ參考書ヲ御配付ヲ煩シタイノデアリマス

●川久保政府委員 只今御要求ニナリマシタ各國ニ於ケル實際ノ狀況ノ調査書ヲ只今提出致シマス

●丹下委員 本法ノ施行ニ付テハ命令條項ニ大分委任シテアルヤウデアリマス、恐ラク命令條項ノ草案モ御出來ニナツテ居ルダラウト思ヒマス、其草案ヲ一ツ御示シ願ヒタウゴザイマス、政府ニ御要求致シマス

●川久保政府委員 此法案ノ中ニ色々命令ニ讓ツテ居ル點ガゴザイマスガ、マダ其命令ノ草案ハ確定致シテ居リマセヌ、條文ニ付テ御質問ニ應ジテ御答致シマス間ニ、大體ノ事項ヲ御話申上ゲタイト存ジマス、マダ確定致シテ居リマセヌカラ、案其モノヲ御覽ニ入レルコトハ出來ナイノデアリマス

●古賀委員 本案ニ付キマシテハ今御

話ノ中デ、向フノ地區ノ御指定ガアル  
ノデゴザイマセウ、何處々々ガ新シク  
開拓サレル場所デアリマスカ、ソレカ  
ラモウ一ツハ本案ノ期限ノ問題、ソレ  
ヲ御尋ネ致シマス

●前田委員 私ハ議事進行ニ關シテ申  
上ゲマス、本案ヲ質問スル前ニ先ヅ政  
府當局カラ本案提出ノ趣旨ヲ御説明願  
ヒタイノデアリマス

●俄國務大臣 只今ノ前田君ノ御求メ  
ニ依リマシテ大體ノ趣旨ヲ御話申上ゲ  
テ置キタイト思ヒマス、本邦ノ外國貿  
易ハ御承知ノ通りニ大正八年以來年々  
輸入超過ノ状態ニアリマシテ、斯ノ如  
キ状態ガ續キマスルト、本邦ノ經濟界  
ノ健全ナル發達ヲ望ムコトノ出來ナイ  
コトハ明カデアリマス、仍テ此國際貸  
借ノ逆調ヲ矯正シ、其改善ヲ圖ルト共  
ニ、一面我國ノ産業ノ發達ヲ促進スル  
爲ニ輸出貿易ヲ盛ナラシムルト云フコ  
トハ、我が經濟界ノ現狀ニ鑑ミテ最モ  
必要デアルコトハ言フ迄モナイコトデ  
アリマス、然ラバドウシテ輸出貿易ノ  
振興ヲ圖ルカト云フコトニ付キマシテ  
ハ、固ヨリ其方法ハ色々ゴザイマセウ  
ガ、當業者ニ對シテ直接輸出ノ助成ヲ  
スル、即チ輸出金融ノ便ヲ講ジマシテ、  
本邦商品ノ新販路ヲ開拓スルト云フコ  
トガ最モ必要ナル事項ノ一ツデアリマ  
ス、蓋シ本邦ノ商品ノ市場ガ未ダ十分

ニ開拓サレナイ地方、例ヘバ中部亞米  
利加、南部亞米利加、阿弗利加又ハ巴爾  
幹地方等ニ於キマシテ、本邦ノ商品ノ  
輸出ノ見込ガ十分ニアル、是等地方ニ  
對スル所ノ其輸出ノ手形ニ付テ金融ノ  
途ヲ開ク、金融ヲ滑カナラシムル、斯ウ  
云フコトニ致スコトガ其地方ニ輸出ヲ  
増進スルニ必要デアアルノデアリマス、  
從來是等地方ニ對シマシテ輸出ヲセ  
ント欲スル者ガ、爲替銀行ニ對シ輸出  
手形ノ買収ヲ求ムル場合ニ於キマシ  
テ、是等地方ノ輸入商、其地方ノ商賈人  
ノ信用状態ガ比較的ニ分ラヌノデアリ  
マス、ノミナラズ金融機關モ十分デア  
リマセヌガ爲ニ、銀行ハ其輸出手形ノ  
支拂ガ拒絶サレルト云フ場合ヲ心配ヲ  
致シマシテ、輸出商側ヨリ信任狀ヲ發  
行スルノデナケレバ、容易ニ其銀行ガ  
手形ノ買収ニ應ジマセヌ、又假令應ズ  
ル者ガアリマシテモ、多額ノ利廻リ、相  
當ノ擔保ヲ要求スル等、其買取ノ條件  
ガ輸出業者ニ取ツテ甚ダ不便不利デア  
ルコトハ免レナイノデアリマス、然ル  
ニ是等ノ地方ハ概シテ信任狀發行ノ商  
習慣ガマダ餘リ十分デアリマセヌ、ノミ  
ナラズ本邦ノ商品トノ競争關係デア  
ル外國商品ニ對シマシテハ、其國々ノ本  
國ニ於キマシテハ、多クハ輸出補償制  
度ヲ既ニ設ケテ居ル、是等競争地ニ在  
ル諸國ノ商品ハ補償ノ便宜ヲ得テ居

ル、斯ウ云フコトガアリマスカラ、  
益々我國ノ輸出業者ノ位置ガ甚ダ不利  
益デアアル、斯ウ云フ状態デアアルノデア  
リマス、隨テ是等新市場ニ於キマシテ  
外國トノ競争ニ打勝チマシテ、以テ本  
邦ノ商品ノ新販路ヲ開拓スルト云フコ  
トニ付キマシテハ、銀行ガ進ンデ心易  
ク其輸出手形ヲ買取り、且ツ其條件モ  
輸出業者ガ最モ有利デアアルト云フコト  
ノ状態ニ置クコトガ最モ肝腎デアリマ  
ス、然レドモ銀行ハ勿論營利ヲ目的ト  
シテ居リマスカラ、此輸出手形ノ買  
取ニ付キマシテハ、銀行ノミガ危險デ  
アルト云フ状態ニ置キマシテハ、其買  
取若クハ金融ヲ強制スル譯ニハ行キマ  
セヌ、是ニ於テカ所謂輸出補償制度ヲ  
設ケマシテ、國家ガ斯ル場合ニ於キマ  
シテハ金融ノ便宜ヲ與ヘ、此地方ノ輸  
出手形ノ不渡ノ場合ニ於キマシテハ、  
銀行ノ被ル損害ノ一部分ヲ國家自ラガ  
補償シテヤル、隨テ其買取銀行ガ安  
ジテ手形ニ對スル金融ノ便宜ヲ與ヘル  
ト云フコトニスル必要ガアルノデアリ  
マス、斯ウ云フ理由ヲ以チマシテ新ニ  
此法律ヲ制定致シマシテ、銀行ガ此方  
ノ指定スル地域ニ於テ輸出手形ヲ買取  
テハ、之ニ依ッテ損失ヲ生ジタ場合ニ於  
テハ、其銀行ニ對シテ、議會ノ協賛ヲ經  
テ居ル豫算ノ範圍内ニ於テ、其損失ノ  
アル場合ニ於テ其損失ノ七割ヲ限度ト

シテ、政府ガ其損害ヲ補償スルト云フ  
契約ヲスルコトガ出來ルヤウニ致シタ  
イト云フ趣旨デアリマス、目下先ニ申  
シマシタル通りノ經濟状態ニ於テ、輸  
出ノ促進ト云フコトガ極メテ必要デア  
ル状態デアリマスカラ、宜シク御審議  
下サルヤウニ御願シマス

●古賀委員 大體ノ御趣旨ハ能ク分リ  
マシタケレドモ、新ナル土地ニ向ッテ  
商品ノ開拓ヲスル場合ニハ、斯ノ如キ  
法案ヲ御建設ナルコトハ最モ機宜ニ  
適シタコト、思ヒマス、併シ從來取引  
ヲセラレテ居リマスル地方ニ向ッテ、  
是ノ必要ハ殆ドナイモノデアラウ、斯  
様ニ考ヘルノデアリマス、デ新ナル土  
地ノ御指定ト、ソレカラ一旦其得意ノ  
開拓ガ出來マシテ、何年カヲ經過致シ  
マシタラバ、矢張モウ此法案ノ必要ノ  
ナイ時機ニ到達スル場合ガアルダラウ  
ト思フ、此場合ニ於テハ何等カ其處ニ  
期限ノ必要ガアリハシナイカ、斯様ニ  
考ヘル次第デアリマス、一寸ソレヲ御  
尋致シマス

●俄國務大臣 只今ノ御説ハ御尤デア  
リマス、唯一定期限ヲ設ケマシテモ  
實情ニ適シナイコトガアル場合ガアリ  
マスルカラ、期限ヲ設ケマセヌデ其地  
方ノ實情ニ應ジテ、モウ宜シイト云、タ  
場合ニ之ヲ其地方ニ對シテハ止メルト  
云フヤウナコトニシテ行ッタ方が、實情

ニ極メテ適合スル方法が出来ルデアラウト思ヒマス

●松村委員 質問シタイコトハ色々アリマスガ、只今期限ノ問題が出来マシタ

ノデ質問ノ便宜ノ爲ニ伺ヒマスガ、各國共ニ期限ヲ附シテ居ルコトガ實情ノヤウニ見ヘルノデアリマス、其期限ニ到達シタル場合ニ於テ適當ニ考ヘルト云フコト、從來幾多ノ實例又慣例ニ徴シマシテ期限ヲ附セズヤリマス、果シテ是ガ適當ナ法案デアルヤ否ヤト云フコトヲ判斷スル場合ニ非常ニ無益ナル期間ヲ費スヤウニ思ヒマス、各

國共ニ期限ヲ附シ、其期限ニ到達シタル場合ニ、果シテ此法案ガ適當シテ居ルカ成功シテ居ルカト云フヤウナコトヲ能ク審議シテ行ク、サウシテ延期スベキモノハ延期シ、或ハ止メルベキモノハ止メルト云フコトノ議論ガ、各國ニ既ニ盛ニ起ッテ居リマス、現ニ佛蘭西ノ如キモ今日ニ於テハ、官僚的ナ

政府ガ斯ノ如キ法案ヲヤルト云フコトハ實益ガナイ、ソレデ民間ニ移スト云フ議論モ既ニアリマス、此問題ハ外ノ國ニモアリハシナイカト考ヘテ居リマス、是ハ本案ノ輸出補償制度ニ對シマシテハ例ヘバ經費ハ僅デアリマシテモ、其經費ガ効果ガナイニ漫然之ヲ實行スル虞モアリマス、又期限ヲ附シテ置キマスナラバ、施行ノ方法ニ對

スル經過ニ付キマシテモ緊張味ヲ帯ビルモノデアリマスカラ、私ハ矢張期限ノ問題ニ付キマシテハ當局ハ相當ニ考慮スル必要ガアルト思フノデアリマス

●倭國務大臣 御尤ノヤウニ考ヘマスガ、併ナガラ其地方ニ其補償ノ制度ガ固ヨリ必要デアルカナイカト云フコトハ、是ハ常ニ當局ハ注意シテ居ルノデスカラ、例ヘバ期限ガナクテモソレガ調査ヲ別ニ怠ルト云フ風ナ心配ハナカラウト思ヒマス、ノミナラズ先刻申シマシタ通りニ矢張此實情カラ見マス

コトハ如何デアラウカ、或ハ御説ノ如キコトガアリマセウガ、私ガ申シマスヤウニ一利害ハアリマセウケレドモ、吾トシテハ期限ガナクシテサウシテ實情ニ適シタ此補償ヲ實行シテ見

タイト云フ考デアリマス

●矢野委員 私人第一條ニ於テ主務大臣ガ地域ヲ指定スルト云フコトニナッテ居リマスガ故ニ、若シ期限ヲ附スル必要アリトスレバ、ソレハ命令ノ條項ニ委任スレバ宜イノデアアルカラシテ、法律案トシテハ期限ガナイ方ガ伸縮自在デ實情ニ適シ得ルト私ハ考ヘ

マス故ニ、此法律案ニ期限ヲ附スルト云フコトノ説ニ對シテ私ハ反對デアリ

●松村委員 私人只今ノ御意見ヲ聽キマシテ啞然トスルノデアリマス

●岡崎委員長 マダ討論ニ入ッテ居ラスノデス

●松村委員 併シアチラカラヤリマスカラ……第一條ノ問題ハ地域ハ主務大臣ガヤッテ差支ナイト云フコトデアリマス、期限ノ問題ハ事豫算ニ關スル、ソレ故ニ年々ノ豫算ニ金額ハ少額デアリマシテモ關係スルノデアリマス、金額ハ小ナリト雖モ期限ヲ附スルト云フコトハ豫算上ノ問題デアリマスカラ、豫算ニ關スルコトハ主務大臣ノ認定ニシタ方ガ宜イナドト云フコトハ、是ハ殆ド意味ヲ爲サナイ論デアルト思ヒマス、私ハ今ノ御意見ニ對シテハ反對デアリマス、尙ホ當局ニ御同致シマスガ、實ハ突然參考書ガ出タノデアッテ、明日詳シク又御質問致シマスルガ、今少シ餘計ナコトヲ申上ゲマスヤウデスガ、事ノ順序デアリマスカラ申シマスガ、只今主務大臣ノ御説明ニ依リマスル

ト、本案ハ我國ノ輸出ヲ増進スル、促進スル爲ニシタイト申シマスルガ、其趣旨ハ洵ニ結構デアアル、併ナガラ事ハ他ニ移リマスケレドモ、現内閣ガ金解禁後ノ對策ト致シマシテ補償法案ヲ出スト云フコトヲ屢々本會議ニ於テ聲明サレテ居リマスガ、少シ枝葉ノ問題ニナリマスケレドモ、尙ホ御聽取ヲ願ヒタ

イト思フノデアリマス、各國ノ状態ヲ見マス、補償法案ヲ出シマシタ各國ノ實例ハ、必ズ金解禁ヲ實行スル數年前ニ之ヲ出シテ居リマス、例ヘバ英吉利ノ如キハ千九百二十五年ニ解禁ヲ實行シマシテ、二十一年ニ輸出補償法案ヲ出シテ居リマス、伊太利ノ如キモ二十七年ニ解禁ヲ致シマシテ、二十六年ニ補償法案ヲ出シテ居リマス、白耳義ノ如キハ二十六年ニ解禁ヲ致シマシテ、二十一年ニ補償法案ヲ出シテ居リマス、和蘭ノ如キハ二十六年ニ解禁ヲ致シマシテ二十一年ニ補償法案ヲ出シテ居リマス、惟フニ斯ノ如キ法案ハ金解禁スル前提條件ト致シマシテ、金解禁ヲ爲シマス前ニ當然起リ得ル幾多ノ困難ナル問題ヲ解決シ緩和ヲスル一ツノ策トシテ出スベキモノデアリマス、然ルニ現内閣ガ突如トシテ金解禁ノ跡始末ト申シマスカ、慌テフタメイテ本案ヲ出シテ居ル、私ハ本案其モノニ對シマシテハ贊成デアリマスガ、内容ヲ見マス、甚ダ貧弱デアリマス、詰リ此金額ハ僅ニ二十四萬圓、我國ノ貿易ガ二十四萬圓バカリノ貧弱ナ金額ヲ以テマシテ如何ニシテ促進ガ出来マスカ、之ヲ各國ニ徵シマス、當局モ既ニ御調ベノコト、思ヒマスガ、各國デハ數百萬圓、數千萬圓ヲ費シテ居ル、私ハ本案ヲ提出シタ趣旨、是ハ如何ニモ立派

第五類第二號 輸出補償法案委員會議錄 第一回 昭和五年五月一日

三二

デアリマスケレドモ、金解禁後ノ輸出ノ對策ト致シマシテハ、斯ノ如キ貧弱ナル豫算ヲ以チマシテ、斯ノ如キ即チ宣傳的ノ此法案ヲ御出シニナリマシタト云フコトハ別問題デアリマサガ、二

務デアアル、其前ニヤラナイデ遅レバセニヤッタノハ怪シカラヌト仰シヤルガ、併ナガラ輸出ノ獎勵ト云フコトハ遅レテモ是非ヤラナケレバナラヌノデアアル、私共ハ只今ノ御説ノ如ク輸出補償制

度ガ金解禁ノ如何ニ拘ラズモト早くカラナカッタコトヲ憾ミトスルノデス、金解禁ノアッタナシニ拘ラズ、唯、此輸出補償制度ノ仕組ガ如何ニモ小サイ、御尤デアリマス、唯、政府ハ財政ノ狀

況ニ依ッテ斯ノ如キ程度ニ止ムルノ已ムヲ得ザルニアルガ、一方カラ言ヘバ財政ノ緊縮デ是ダケノ經費ヲ捻出スルノサヘ困難デアルニ拘ラズ、此制度ヲ設ケ輸出ノ促進ヲスル、獎勵ヲスルト

●**倭國務大臣** 只今ノ御話ノ金解禁ヲシタニ付テノ善後策トシテ、突如トシテ此制度ヲ出シタト云フコトデアリマスガ、言葉ハ如何ヤウニ御使ヒニナッテモ見方、見様デドウデモナリマスガ、何

モ金解禁ヲシタカラ此制度ヲ出シタト云フ意味デハナイノデアリマス、先ニモ御説明致シマシタ通りニ、我國ノ現今ノ國際貸借ノ關係カラシテ輸入ニ次

グニ輸入ヲ以テシ、大正八年以來殆ド超過ノ連續デアリマス、十數年ニ互ッタ數十億ノ輸入超過、斯ウ云フ状態デハ我國ノ經濟ガ益々不況不振ニ赴クノハ

當然デアリマス、ソレ故ニ輸出ノ獎勵ト云フコトハ金解禁ノ有無ニ拘ラズ是非共ヤラナケレバナラヌ、即チ今迄ニモ斯ウ云フ制度ガナカッタコトヲ甚ダ

遺憾トスル、唯、只今仰セノ如ク先ヅ輸出補償制度ヲ實行シタ後ニ解禁ヲヤッタラ宜イデナイカト云フ御話デアリ

マスガ、是ハ輸出補償制度ノ問題トハ別問題デアリマス、金解禁ト云フコトハ屢々政府ガ説明シタ如ク、是ハ別ノ事由カラシテヤッタノデ、是ハ刻下ノ急務デアアル、其前ニヤラナイデ遅レバセ

ニヤッタノハ怪シカラヌト仰シヤルガ、併ナガラ輸出ノ獎勵ト云フコトハ遅レテモ是非ヤラナケレバナラヌノデアアル、私共ハ只今ノ御説ノ如ク輸出補償制度ガ金解禁ノ如何ニ拘ラズモト早く

カラナカッタコトヲ憾ミトスルノデス、金解禁ノアッタナシニ拘ラズ、唯、此輸出補償制度ノ仕組ガ如何ニモ小サイ、御尤デアリマス、唯、政府ハ財政ノ狀況ニ依ッテ斯ノ如キ程度ニ止ムルノ已ムヲ得ザルニアルガ、一方カラ言ヘバ

ノ内容ヲモット増大シテ出スベキ性質ノモノデアルト思フノデアリマス

●矢野委員 一寸政府委員ノ方ニ御伺シタイノデアリマスガ、主務大臣ノ指定スル地域ト云フノハ、先刻主務大臣カラ御説明ガアッタヤウニ中米、南米、巴爾幹、亞弗利加、大體是位ノ地域ヲ御指定スル御考デアリマスガ、サウシマスト此地域ノ方面ニ對シテドレ位ノ貿易輸出額ガアルノデアリマセウカ、ソレヲ御伺致シタイ

●松村委員 法案提出ノ理由ヲ質問シテ居リマスカラ、ソレヲ片付ケテカラニシテ下サイ

●俄國務大臣 只今ノ松村君ノ御發言ハ御意見ガ多イノデアリマシテ、別ニドウモ是ト云フ答辯ノシヤウガナイト思フノデアリマス、丁度第一ニ御舉ニナッタコト、第二ニ御舉ニナッタコトハ、同様デアルヤウニ思ヒマス、ソレデ豫算ガ小サイカラ出直シテ來イト云フヤウナ御話デアリマシタガ、是ハ貴方ノ方デ、輸出獎勵ヲスルノガ必要デアルト云フ御意見デアラナラバ、甚ダ矛盾シタ御意見デアルヤウニ思ハレマス、小サイ大キイト云フコトハ、是ハ程度ノ問題デアリマス、輸出ヲ獎勵スルコトガ必要デアルト云フコトノ御意見ヲ立ッテ御進ミニナル以上ハ、小ハ小、大ハ大ト雖モ、輸出ヲ獎勵スル方ガ宜イ

ト云フ御意見デアルベキカト思フ、ソレ彙ニ申上ゲマシタ如ク、成程金額ハ小サイ、是ハ財政ノ足りナイ爲洵ニ已ムヲ得ナイ、小サイカラヤッテハイカヌ、小サイカラ是デハ振ハヌ、何ノ役ニモ立タヌト仰シヤッテモ、小ハ小、大ハ大、十分ニ小サクトモヤッテ居レバ宜シイ、先程申上ゲマシタ通りニ當局ハ假令豫算ハ小サクトモ、此地方ニ於テ現ニ見込ガアル、唯、金融ノ道ガ付カヌカラ輸出貿易業者ガ不安ヲ感ズル、ソレヲ取去ル方法ヲアルニ付テハ、此地方ニ必ズヤ輸出ガ促進サル、ニ相違ナイ、之ヲ一ツヤラウ、斯ウ云フノデアリマス、ソレデアリマスカラ豫算ノ金額ノ大デアラザルコトハ遺憾デアラガ、財政ノ關係上已ムヲ得ナイ、小デアラカラト云ッテ之ニ御反對ニナルト云フ譯ハ無論ナカラウト思フ、小ハ小デモ、小ノ範圍ニ於テ方法ノ宜シキヲ得テ目的ヲ達シタイ、斯ウ云フ考デ居ルノデアリマス

●松村委員 大臣ノ御説明ハ分ッタヤウデ分ラナイ、何故ナレバ本案提出ノ理由ガ如何ニモ堂々トシテ居ルカラ、其理由ガ分ラヌト云フ意味デ御質問申上ゲタノデス、ソレ故ニ二十四萬圓バカリノ金額デ先ヅ試験的ニヤッテ見ヤウト云フ御趣旨デアラナラバ、是ハ二十四萬圓結構デアリマスガ、如何ニモ

其宣言ノ堂々タルニ似ズ其内容ノ貧弱ニシテ伴ハナイト云フ理由カラ、本案提出ノ理由ガ分ラナイト云フノデアリマス、大デモ小デモ緒ヲ開イタラ宜イデヤナイカト云フガ、緒ヲ開クダケダト云フナラバ、現内閣ハ大シタコトハ出來ナイケレドモ、二十四萬圓バカリデアルケレドモ、先ヅ緒ヲ開ク爲ニヤッテ見ルノダト云フナラバ、兎モ角モ、我國ノ輸出ヲ増加シテ國際貸借ノ均衡ヲ圖リ、金解禁ノ後始末ヲ爲スト云フ現内閣ノ聲明竝ニ當局大臣ノ説明ニ對シテハ、大ナリ小ナリヤッタ方ガ宜イデヤナイカト云フコトニ對シテハ、本案提出ノ趣旨ガ徹底シナイ、本案ノ逐條ニ對シテハ後カラ審議致シマスガ、本案提出ノ現内閣ノ趣旨ガ甚ダ不徹底デアルト云フノデアリマス

●岡崎委員長 答辯ハアリマセヌカ

●俄國務大臣 答辯ノ仕様ガアリマセヌ

●松村委員 然ラバ私ハ強テ追窮致シマセヌガ、私ハ現内閣ガ金解禁後ノ對策ト致シマシテ、而モ國際貸借ノ均衡ヲ圖ルガ爲ニ斯ノ如キ法案ヲ出シタト云フ聲明ハ單ナル是ハコケ威シノ宣傳ニ過ギナイ、而モ只今當局大臣ノ御説明ニ依リマス、大ナリ小ナリヤッテ見タラ宜イデヤナイカ、金額ハ小ナリト雖モ輸出振興ノ一助トナルデヤナイカ

ト云フヤウナコトハ、現内閣ノ根本的方針ト殆ド相容レナイ御答辯デアルト思フ、ソレ故ニ本案提出ノ理由ガ——

●川久保政府委員 只今輸出補償法案ヲ適用致シマス地域ニ付キマシテノ御尋デアリマスガ、差當リ主務大臣ガ其地域トシテ指定シヤウト考ヘテ居リマスノハ中米、南米、巴爾幹地方、阿弗利加及露西亞等デゴザイマス、其地方ニ對スル輸出額ハドウデアラカト云フ御尋デゴザイマスガ、是等ノ地方ニ對シマスル過去三年間ノ輸出額ノ平均ハ九千五百八十七萬圓デゴザイマス

●岡崎委員長 尙ホ政府委員ニ申上ゲマス、豫算委員會ガ開カレテ居リマスカラ、其ノ方ニ行ッテ居ラレマス前田君カラ材料ノ提出ヲ要求サレテ居リマス、金解禁後ヨリ最近ニ至ル貿易狀態ト、昨年度同期間ニ於ケル狀態トノ比較——主要品目ニ付テ——金解禁後ヨリ最近ニ至ル貿易狀態ト、昨年度ニ於ケル比較ト云フノデスカラ、詰リ今年ノ三月ナラバ三月ヲ期限トシテノ其比較表デアリマス、ソレカラ南米、中米、亞弗利加、露西亞、中央亞細亞、埃及、南洋諸島ニ對スル日本竝ニ歐米ヨリノ主要輸出品竝ニ價額、右參考資料ヲ要求

サレテ居リマス

●戸部委員 只今政府委員カラ御話ニナリマシタ中米、南米、巴爾幹地方、亞弗利加及露西亞ノ貿易額ガ九千五百八十七萬圓トアリマスガ、此中大體從來三箇年ノ損失ノ程度ガドノ位ノモノデセウカ、調査資料ガアリマセヌデセウカ

●川久保政府委員 損失ト云フ御話デスガ、損失ト云フノハドウ云フ意味カ了解シ兼ルノデアリマスガ、一應ドウ云フ點カ……

●戸部委員 第一條ニ基イテ政府ガ補償セントスル損失ノ見積リ額ノ根柢デアリマス

●川久保政府委員 ソレ等ノ地方ニ對スル輸出形ガ過去如何ナル狀況ニ於テ買取ラレ、又ソレニ關シテ支拂ヲ受取ッテ居ルカト云フコトノ調べノ御尋ト思ヒマス、正金其他ニ爲替相場ニ付テ色々問合セテ見タノデゴザイマス、然ルニ今日迄ハ正金其他ノ爲替相場ハ、此爲替手形ヲ買取リマスルノニ、最モ確實ナモノノミヲ選ンデ買ヒ取ッテ居リマシテ、隨テ不確實ニ考ヘラレルモノハ其手形ノ買取リヲ拒絶シテ居リマスカラ、特別ニ手形ノ買取リニ依ッテ起ッタ損害ト云フコトヲ統計的ニ計上スルコトガ困難デゴザイマス、正金等ノ調べハ左様ナ事情デゴザイマシテ、

御尋ニナリマスル損害額ハ此際御答スルコトガ出來ナイノデアリマス

●松村委員 今彼方ノ方カラ參考トスベキ金額ト地域ノ御話ガアリマシタガ、輸出商人ノ狀態、即チソレ等ノ地方ニ貿易ヲヤッテ居リマスル人ハ、大體ニ於キマシテ、細カイコトハ無論御分リニナリマセヌデセウカ、正金カ何カニ付キマシテ、大商人デアアルカ、中商人デアアルカ、中小商工業者ハドノ位ノ程度デ含ンデ居ルカ、大體ノ觀測デ宜シウゴザイマスガ、ソレハ將來本案ヲ實行シマス成績上ニ關係ガアリマスノデ、無論御分リニナリマセヌケレバ已ムヲ得マセヌガ、中小商工業者ガドノ位含ンデ居リマスガ、例ヘバ大阪ノ方面ニ於キマス中小商工業者ノ數ハドノ位含ンデ居ルカ、大商人、中小商工業者ノ大體ノ觀測ダケデモ參考ニスル程度デ御調べヲ願ヒマス、多分正金カ、是等輸出爲替ヲ扱ッテ居ラレル銀行デ分ッテ居ルコト、思ヒマスカラ、大體ノ資料デ宜シウゴザイマスガ、若シ參考ニナル資料ガアリマシタナラバ、政府ニ於キマシテ明日迄ニ御取調ヲ願ヒタイト思ヒマス、本案ヲ審議スル上ニ於キマシテ、貸倒レトカ、色々ナ問題ニ關係ガアリマスカラ……

●田邊委員 委員長、此程度デドウデ

●岡崎委員長 一應皆様ノ豫備的御質問ガアレバ——別ニ御質問ハアリマセヌカ

●丹下委員 一寸今質問ガアリマシタノデ、ソレニ關連シテ御尋シマスガ、サウスルト此補償額ノ二十三萬五千圓ト云フ算出ノ基礎ハ何ニ依ッタノデスカ、大體ドウ云フ程度ノ損害ガアルカラ此金額ヲ算出シタモノデアルト云フコトガ分ラナケレバナラヌガ、サウ云フ是迄損害ヲ受ケタ程度トカ、何トカ云フモノガ分ラナイデ此數字ハ出來テ居ルノデスカ

●川久保政府委員 二十三萬五千圓ヲ計上致シマシタ計算ノ根據ハ持つテ居ルノデアリマス、一應其コトヲ申上ゲマス

●丹下委員 ソレヲ何カ表ニデモシテ御示シ願ヒマス、ソレハ地方別ニ計算ガ立ッテ居ルト思ヒマスガ、明日迄ニ其表ヲ戴キタイ

●川久保政府委員 其表ハ差上ゲマス

●丹下委員 ソレカラ先程命令條項ハ決ッタモノハナイト仰シヤイマシタガ、是ハ當然決ッテ居ル譯デアリマス、從來ノ例ニ徵シマシテモ法案ヲ提出セラレル迄ニハ施行法トカ、施行細則ノ案ト云フヤウナモノガ大體出來テ居ルノデスカラ、未定稿トシテソレヲ示サレルコトガ私ハ親切デナイカト思ヒマス、全

然ナイト云フコトハ是ハ宜クナイ、是ハ未定稿トシテ御示シニナッタ方ガ却テ法案ヲ審議スル上ニ於テ便宜ダト思ヒマス、又質問スル上ニ於テモ了解シ易イト思ヒマスカラ、是ハ大臣モ一ツ其様ニ御取計ヒテ願ヒタイト思ヒマス、是迄モ何レノ場合ニモサウ云フコトニナッテ居ルノデスカラ……

●俄國務大臣 ソレハ只今政府委員ノ話ガアリマシタガ、マダ案ニ出來テ居ラヌノデアリマス、事項ヲ出シ得ル限リハ出シマス

●丹下委員 サウ云フコトニ願ヒマセウ

●勝田委員 私モ一ツ御要求ヲ致シテ置キマスガ、中米、南米、巴爾幹地方、阿弗利加、露西亞等ニ於ケル過去三箇年ノ平均九千五百八十七萬圓ト云フコトヲ只今承ッタノデアリマスガ、是等ニ對シテドウ云フ荷物ガ動イテ居リマスルカ、其種目ノ表ヲ御提出ヲ願ヒマス

●岡崎委員長 質問アリマセヌカ、ソレデハ本日ハ此程度ニ止メマシテ、明朝十時カラ開會致シマス

午前十一時十分散會